

国保、広域化の方向でよいのか

事務の効率化になる

川口 浩史 議員

問 国民健康保険は医療の高度化や受診率の増加、人口の高齢化などで医療費が増加する一方、国庫負担率が引き下げられているため国保財政が脆弱化し、当町は2年つづけての値上げとなった。今、根本的な解決が必要になっているが、しかし国は、県が保険者となることで解決の方向で、その前段として広域化する方向だ。町長は、これが根本的な解決になると考えているのか何う。

町長 大きくなることよって財政も大きくなり、自治体によって保険税など違

ったものが平準化するし、事務の効率化にもなる。

乳幼児医療費 無料化拡大を

問 乳幼児医療費の無料化の拡大が近隣自治体で広がっており、東松山市では中学3年（入院）までになった。当町でもせめて玉川村や滑川町と同じ、小学3年まで無料化し子育てを支援すべきでないか。

福祉課長 試算すると1200万円かかる。財政状況のきびしい現在では当面は大はできない。

再問 近隣が拡大し当町が遅れているということは、



保育園の運動会練習風景

子育て支援が弱い自治体だということになる。これでは町のイメージが悪くなり、せめて小3まで無料化すべきでないか。

夏休み前までに30度以上の日が12日あり、うち35度以上の日が1日あった。やはりこれでは勉学に集中することは難しいと思う。来年こそ暑さ対策を考えるべきでないか。

暑さ対策について

問 今年の7月は昨年より暑さではなかったが、

アスベスト調査や対策は

結果を見て対応

広報等で周知する

清水 正之 議員

問 アスベストが大きな社会問題となっている町の施設の調査や職員、住民に対する対策は。

福祉課長 十月から施設給付改正の見直しについては八月の広報に掲載した。介護サービスの対象者には手続きの通知をした。介護保険事業計画、高齢者保険計画の策定作業を進めているところである。また、地域包括支援センターには保健士、主任ケアマネージャー、社会福祉士を各一名づつ置くことになっており、今後の運営等については運営協議会で検討していく。保険料については推計中で金額については出ていない。区分については第二段階を二

助役 地区集会所については現在調査中であり、結果を見て対応する。学校給食関係については現在処理をしているところ。職員の健康審査の項目については、検討していく。住民の対応については、県の機関とも相談し、広報などで周知する。

進捗は

問 十月から介護保険の見直しが行われる。進捗は。地域包括支援センターの対

つに分け、六段階にする予定である。

就任一年間の感想は

職員と意識の共有を心掛けた

藤野 幹男 議員



職員のボランティア作業

問 今後の合併への考え方と、町長就任一年の感想は。

町長 これまで二回白紙になり、三回目の破綻は許されない。どこも慎重になっている。大きな変化は特例債がなくなる。それぞれの町民が、自らの地に誇りと愛着を持ち、それらを大切にしていきたいと願っている。情報として町にあるものを流していく、いざという時独自の判断がしっかりとできる情報提供が我々に課せられた責任であると考えている。

問 一年間の感想は、組織に入り戸惑いは感じた。職員と考え方が離れていては物事が進まない。意識の共有をしていかなければいけない。職員提案もいた、だいて、町民に対し、何ができるかの共通の意識ができてきていると思う。

個人情報について

問 個人情報保護法が施行され浸透してきており、不具合な面もある。各種団体総会時名簿配布等に関し、対応と、取扱いは。

企画課長 個人情報保護条例の規定により、町の機関で保有する個人情報、目的以外に名簿等利用できない。第三者へも提供できない。但し本人同意があればこの限りでない。各種団体等は、それぞれの団体が判断していけばよいと考える。

職員のボランティア作業について

問 職員の休日ボランティア作業、今後も続けられるか、又暗くて危険な広野地内関越トンネル内のペイント奉仕作業もできないか。

総務課長 町財政の現状から、職員自ら町のために出来ることはないかと、職員提案から生まれたもの、庁舎、フィットネスパーク、平沢のせせらぎ水路を今までも二回実施、今後も職員の協力を得て続けていきたい。以前提案いただいているトンネル内の改善も、協力を得て実施したい。

その他の質問

○県道歩道分の雑草、安全上対策を。

○緑のカーテン（ゴーヤ）で庁舎、学校の冷却対策を。



アスベストが除去された壁